

■ 前回の例会記録

第3404回 2023年11月7日(火)

池ノ上ガバナー公式訪問例会
(クラブフォーラム)

* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	106名
例会出席会員数	78名
同上出席率	74.29%

■ 今回の例会予定

第3405回 2023年11月14日(火)

【ロータリー財団月間】

ロータリー財団委員長
株式会社宮崎観光ホテル
代表取締役社長 平嶋 孝次 会員

【新会員卓話】

明治安田生命保険相互会社
宮崎支社長 山本 修司 会員

■ 次回の例会予定

第3406回 2023年11月18日(土)

【夜間例会】

OB交流会
宮崎観光ホテル「山吹」 18時30分

■ 幹事報告

- 配布物の確認
・週報No.16
- 報告 告知
・本日はクラブスタッフ会議です。
- 池ノ上ガバナーの動き
本日7日は宮崎クラブ 佐藤地区幹事、廣川筆頭地区幹事が随行
8日 鹿児島南 廣川、寺坂幹事随行

■ ゲスト・ビジター会員



国際RC第2730地区
池ノ上 克 ガバナー



長嶺 貴臣 ガバナー補佐
(宮崎北RC)



佐藤 嘉信 地区幹事



廣川 拓也 筆頭副幹事



第47代会長
定永 正明 名誉会員

池ノ上ガバナー
お帰りなさい



ガバナー入場

■ 会長の時間



会長挨拶

岡本 俊則 会長



花束贈呈



幹事団皆さんへの記念品贈呈

■ 奨学金授与式



米山奨学生
ワルダナ・バユ・クスマ君

結婚記念日祝



誕生日祝



皆様こんにちは、ガバナー公式訪問例会、私たちにとって本当に待ちに待った一日でありました。先週の会長挨拶の中で池ノ上ガバナー誕生までのお話に少し触れさせていただきましたが、本日こうして無事に、この晴れがましい日を迎えられましたこと私自身とても感動をしております。思い起こせばガバナーノミニー就任直後に先生が体調を崩され入院をされたこと、退院後のお姿を拝見しご本人はニコニコしておられました。随分とお痩せになられており、とても心配に思ったこと、色々な場面が脳裏に浮かびます。その後、体調は回復され、共に出席をさせて頂いた地区の各協議会やセミナー等ではステージ上のお姿を拝見しながら、お話を聞かせて頂く中で先生を凄く誇らしく思う感情が次第にわき上がってきたのを覚えています。これは私に限らず池ノ上先生に帯同し各地を巡ってこられた当クラブのメンバーが皆等しく抱いた感情なのではないかと思えます。

先生はどんなときでも穏やかで、他人への気遣いに富み、常に前向きな思考で我々の背中を押してください。出会うすべての人を心地良い空気に包んでくださいます。

しかし、その実、ご自分には極めて厳しく、決して弱音を吐かない、とても強い方だと私は思っています。それ故にあまり無理をなさらなければいいがいつも案じています。

7月のガバナー任期開始と同時に始まった地区内68クラブへの怒濤のガバナー公式訪問、そして10月に開催をした地区大会と“大きな二つの波”をようやく乗り越えようとしておられます。先生がガバナーとして越えられた“波”の後ろには我々ロータリアンの誰もが得ることが出来る沢山の“知恵や知識”が広がっているように私には見えます。

既に多くのロータリアンがそれらを拾い集めていることと思いますが、私も負けずと収集に励みたいと思っています。

本日は国際ロータリー第2730地区 池ノ上克ガバナーのアドレスを頂戴致します。宮崎ロータリークラブ全員でしっかりと受け止めさせて頂きたいと思えます。

また、クラブとしては頂いている課題である「クラブ奉仕の取組状況と意識」、「クラブの強みと弱み」に対しての状況や認識をご報告させて頂きます。我がクラブの過去会長でもある池ノ上ガバナーの前では少し戸惑いもありますが、担当の酒井、大園、両委員長がしっかりと準備を整えておりますのでお聴き頂き、ご意見等頂戴出来ればと思えます。

また、今月は「ロータリー財団月間」です。これまで同様に例会毎の募金箱による寄付の継続と、その拡大を奨励して参ります。今月の活動は我がクラブが他に先んじて立ち上げたOB会(全体)の開催と、それに伴う会長杯ゴルフコンペなどのクラブ内親睦事業や姉妹クラブ(山形RC)への地区大会参加に対する御礼訪問など様々な行事を予定しております。可能な限りガバナーにはご参加を賜りながら、しっかりと遂行して参りたいと思えます。

池ノ上ガバナーにおかれましては、少し早いかも知れませんが後半戦に備えお身体くれぐれもご自愛頂きたいと存じます。本日は写真撮影のあと「手に手つないで」の唱和まで長丁場となりますが最後までどうぞ宜しくお願い致します。



■ ガバナー公式訪問



ガバナーアドレス

国際ロータリー2730地区(2023-2024)

池ノ上 克 ガバナー(宮崎RC)

今日は、先日の国際ロータリー2730地区の地区大会では、沢山の方にご協力いただき、ありがとうございました。ロータリーとしての成果を得て、無事に終了することができました。参加いただいた多くの方から、良い地区大会でしたと、お褒めの言葉をいただいています。皆様のそれぞれの持ち場での、素晴お仕事ぶりに心から、感謝申し上げます。

本日は、ホームクラブの公式訪問なので、少し勝手が違いますが、ガバナー訪問の本来の目的である、国際ロータリー会長ゴードン マッキナリーさんの考えを説明し、最近の国際ロータリーがどのような動きをしているかをお話したいと思います。

例会の前に岡本俊則会長、園田有美幹事、塚田正徳会長エレクトの皆様と懇談の場を持たせていただき、楽しいひと時を過ごしました。長嶺貴臣ガバナー補佐にも同席いただきました。

当クラブからは、実に多くの方に地区の役職についていただき、国際ロータリーや日本ロータリーと当2730地区と間の色々なプロジェクトのアンカーとしての役割を果たしていただいています。御礼を申し上げます。

いただいた当クラブの運営方針をみますと、1頁に今年度の国際ロータリー会長、ゴードン マッキナリーさんの講演の全訳が載せてあり、続いてゴードン会長の紹介と、今年度の会長イニシアチブがあります。

この国際協議会は1月8日から13日まで、フロリダ州のオーランドで行われました。ガバナーエレクト及びその関係者約2000人が一堂に集まって聞く講演と、スモールグループに分かれて討議する分科会とが交互に行われる形式の学習会でした。私も参加しましたので、後で少し説明を加えたいと思います。

また、この国際協議会を受けた2730地区の今年度の基本方針と活動計画に関するメッセージを1頁に載せていただいています。

さて、オーランドでの協議会の冒頭の講演でゴードンさんは以下のことに触られました。

今から133年前に作られたフォース鉄道橋を今でも多くの人が使っており感謝している。ロータリーの活動もこのようなものでありたい。

継続と変化とは、これまでのリーダーたちの良い考えを前進させることにある。

ローターアクトを、これまでロータリアンはサポートしてきた。しかし彼らの多くはリーダーとしてすでに成長している。これからは協力体制を作ることが大切だ。

女兒のエンパワメントはシェカール メタ元会長よって出された言葉である。

世界中の恵まれない女兒がゴードンさんの孫娘たちのように健やかに成長してくれるようにロータリーは手を差しのべよう。

DEIはジェニファー ジョーンズ前会長が出された考えである。ロータリーの在り方や運営をDEIに満ちたものにして行こう。

ポリオのない世界を夢見て来た35年間を誇りに思い、さらに行動を続けて行こう。

ロータリーは人道支援を最優先してきた。2004年に起きたタイの大津波災害で、スコットランドのロータリアンは復興作業に当たった。そこで、全てを失って憔悴しきった老婦人から、「皆さんの作業を見ていて、生きる希望がわいてきました。お礼に私が30年来大切にしてきたものを差しあげます」といって大きな貝殻を渡されたが、その貝殻は美しい光を放っており、その美しさが今年度の国際ロータリーのテーマカラーに繋がった。

そしてテーマの「Create Hope in the World:世界に希望を生み出す」の言葉もそこから生まれて来た。

さらに、マッキナリー会長は「希望」を生み育てる土壌は「平和」であり、「メンタルヘルス」の維持はその原点となるものである。私たちはメンタルヘルスの問題に積極的に取り組む勇気が必要である、そのことは我々の周囲でも必要だ、と強調されました。

さて、ゴードン マッキナリー会長のRIのテーマを受けて、私たち2730地区の今年度のテーマは「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」として、メッセージ出しました。

そして活動の2本の柱として「ロータリーの継続と変化」および「メンタルヘルスへの取り組み」を挙げました。

私たちの地区での活動も、この2本の柱を基本に、前へ進んでいただくことを期待します。

継続と変化の活動対象になる主な項目には、ゴードンさんが挙げられた、ローターアクトクラブとの協体制の強化、女兒のエンパワメント、DEIの推進、ポリオ根絶などです。さらに、各クラブにおける行動計画の実行については、米山記念奨学会への寄付、青少年の育成、公共イメージの向上、クラブ奉仕の強化、社会奉仕の実践、ロータリー賞獲得へのチャレンジなどを期待したいと思います。

メンタルヘルスについては、今回初めてロータリーに向けて示された取り組みです。私たちもこの活動を始めたいと思います。

社会の中におけるメンタルヘルスに関する偏見を無くし、同僚や親しい人の心の異変を感じたら、支援の手を差し伸べる勇気をお互いに持たたいものです。

さて、当クラブの運営方針をみますと、9頁に岡本会長の就任挨拶があり、ゴードンマッキナリー会長のテーマおよび2730地区のテーマを受けて「居心地がよく・楽しいクラブづくり」を掲げてあります。それが例会出席率の向上などクラブ奉仕に繋がるのだと述べておられ、ロータリーの基本的な考え方が表してあります。

また、当クラブの3つのOB会との交流はクラブ奉仕、公共イメージ向上につながる重要な活動だと思います。

今年度は「持ち味を知る学ぶ」という新しい委員会を立ち上げて活動が始まっています。宮崎ロータリークラブの歴史と伝統を未来に繋ぐために、ロータリーの中核的価値観を見据えながら、「ロータリーの継続と変化」に基づく成果をあげていただくよう期待したいと思います。

2頁の幹事就任挨拶では、女性幹事であるということのアンコンシャス バイアスを取り除いた、是々非々でのクラブ奉仕をと訴えておられます。このことは女性会員の増強を願う、世界のロータリー活動の基本となる考え方だと思います。ぜひ宮崎ロータリークラブが、この面でのロールモデルとなっただきたいと思っています。

11頁以降は奉仕委員会の運営方針が続いています。宮崎ロータリークラブ定款の44頁をご覧くださいと思いますが、第6条に5大奉仕部門が挙げてあり、ロータリーの言う奉仕活動の哲学および実際の規準が示してあります。即ち5大奉仕活動の考え方が分かります。

定款第6条では、第1にクラブ奉仕が、第2に職業奉仕が挙げてあり、この二つの奉仕活動がロータリーで行う奉仕の基礎となっています。

第1のクラブ奉仕とはクラブの機能を充実させるためのものです。出席委員会の努力で例会が成り立ち、クラブが機能します。プログラム委員会では会員にとって有益なプログラムが組まれることで、例会に出席したいと思う会員が増えるでしょう。親睦委員会では会員相互の理解がより深くなることで、クラブの機能が充実します。フレンドシップ委員会では他クラブやOBの会員との交流を通じて、より素晴らしいロータリアンとしての道を進むことができるでしょう。クラブ広報委員会、クラブ会報委員会、雑誌・IT委員会の活動ではクラブ内外の多くの人々に対して宮崎ロータリークラブの認知度を高め、公共イメージを



向上させて、クラブの充実や機能向上に繋がるでしょう。そして結果的にはクラブ奉仕の役割を果たすことになります。特にこれらの委員会ではロータリーに関して自分が思い、感じたい話をストーリーテリングをしていただきたいと思います。

19頁の会員選考委員会や会員選考委員会、職業分類委員会では、その運営にDEIの考え方を充分に取り入れて活動していただきたいと思います。

25頁のロータリー情報委員会では、入会2年未満の会員ばかりでなく在籍年数の長い会員の方々とも上手にコミュニケーションを取りながら、ティーチング・トレーニング方式からラーニング方式へと移っている現在の国際ロータリーの変化を伝えていただき、会員全員でより楽しく明るいロータリーライフを目指していただければと思います。

さて、26頁にある職業奉仕委員会からは、少し視点が異なります。自分の事業や専門職の道徳的水準を高め、周囲からレスpektされる職業人であることを目指すための奉仕活動と言えます。

27頁の社会奉仕委員会の項目では、定款第6条によると地域社会の人々の生活の質を高めるサービスを行うとされています。職業奉仕、クラブ奉仕に余裕ができれば社会奉仕も考え、つづいて国際奉仕、青少年奉仕へと広げて行くのがロータリーの考え方だと思います。いずれも地域社会への視点が充分に反映された奉仕計画である必要があります。

28頁の青少年奉仕委員会では、若い世代の指導力養

クラブフォーラム



●クラブフォーラム

「クラブ奉仕への取組状況と意識」

会員選考委員長

酒井 宏 会員

皆さんこんにちは、本日クラブフォーラムにてお時間頂き、卓話をさせていただきます会員選考委員長の酒井です。15分という私にとって途方もなく長い時間、皆様の貴重な時間を頂きお話しさせていただきます。宜しく願い致します。

今回のテーマ「クラブ奉仕への取組みと意識について」まずクラブ奉仕とは？

クラブが円滑に機能する為にクラブを代表して、対外活動に参加し、クラブ事業、親睦会に積極的に参加し、会員の満足度を向上させるプログラムを作成する。が定義となっております。

要は、目的、意義を持って事業、親睦会に参加し、同席する会員と有意義で、将来ビジョンに向けた語り合いをし、クラブ事業の充実の為行動しましょう。と言う事でしょうか。あくまで私の個人的な考えです。

では、私のクラブ奉仕の認識は？と言いますと。例会、親睦会に参加する事でメンバーと交流し仲間を増やし、会員同士が楽しい時間を過ごせば良いのではないかと考えておりました。勿論、それが、活動の大前提であるとは思いません。

ただ、先程述べましたクラブ奉仕の定義から、対外活動、クラブ事業の部分が希薄になっている事が判明してしまいます。

私の対外活動は？ クラブ事業は？
クラブ事業に関しては、たいした活動歴もなく、60周年事業の際に、祝賀会部会運営・設営委員長をさせて頂き、忙しさの中にも充実感を持って行動していた事をお伝えする事ぐらいでしょうか。ただ、もう遠い過去です。ここ数年はクラブ内をただ、ただ、漂ってた状態です。

やらなければ！と言う気持ちで、誰かがやってくれるはず。と言う考え方が勝っていました。

成活動を行い、社会奉仕プロジェクト、国際奉仕プロジェクトなどへの参加を通じて、若い人々に良い変化が起ることを期待しています。ローターアクト委員会、インターアクト委員会とのロータリーとの関係性も、ロータリーでは新たな時代に入ろうとしています。

32頁のロータリー財団委員会では、財団への寄付をするばかりでなく、グローバル補助金を活用する計画も示してあり、素晴らしいことだと思います。奨学生のイギリスへの派遣を当クラブが中心となって、2730地区から20年ぶりに行っていたきました。寄附のみではなく財団基金の活用もぜひ続けてもらいたいと思います。

「継続と変化」と言う国際ロータリーの視点から、様々に変わる現代社会の変化をつかまえて、歴史と伝統に満ちた当ロータリークラブの活動を前に進めていくことが、今の私たちロータリアンに期待されていることだと考えられます。

最後に、クラブ内に地区関係委員会を設けていただき、ガバナー活動を支援いただいていますことに御礼申し上げ、佐藤嘉信地区幹事はじめ幹事団の皆様活動に感謝いたします。

また、地区大会を成功裏に導いていただきました川越宏樹実行委員長はじめ実行委員会の皆様、そして宮崎ロータリークラブの全会員の皆様に、心から御礼を申し上げて、アドレスの時間を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

対外活動に至っては、全く経歴なしの状態です。本当にただ、ただ、漂ってた状態です。時は会合して13年過ぎてしまい、気がつけば、クラブの中ではベテランに差し掛かっている存在です。

コロナでの活動自粛も終わりを告げ、今年度からは、再スタートする気持ちで望んでおります。

そこでまず取り掛かった事が、宮崎クラブのホームページを見ることから始めました。

そこには、クラブの基本理念、クラブ奉仕は、5大奉仕事業の一つでロータリーの根幹の1つであるのが記載してあります。

クラブ概要、宮崎クラブの歴史、組織が解ります。カレンダー、年間スケジュール、会員ページとあります。誰が見てもクラブの事がよく分かる内容となっております。

と、そこに「いもがらぼくと」と言うコーナーがあります。はて？これは何だろう？と、正直初めて開いてみました。

そこには、なんと、加賀城先輩のドライブ日記 お一人でかなりの範囲をドライブ。コロナ終息したら県外にも、と掲載されています。くれぐれも安全運転をお願いします。

川越先輩のお正月日記 掲載されている漆器の器が高級な物ばかり、しかも盛り付けがハイソサエティさ、を感じます。古賀先輩の釣り日記 先生の身の丈程の魚をお持ちになられているお姿。釣り上げに何時間掛かったのだろう？と、ただ、腰に負担がかなり掛かってそうですね。現在もこの様なダイナミックな釣りをなされてるのでしょうか。

「いもがらぼくと」は、会員の日常が分かり大変面白いコーナーであると感じる事ができます。

ただ、日付が止まり、最近の記事は掲載されておられません。

このコーナーを閲覧するには、アクセスIDとパスワードが必要ですので、クラブに関わったメンバーしか見れません。SNSの様にあまりプライベートを他人に知られたくないな～と思われる方も、気楽に掲載する事が出来ます。

しかもこのコーナーへの記事掲載により、日頃の会話が更に盛り上がるのでは？と思いましたが、このコーナーへの記事の掲載方法が分かりません。ちょっと調べて拡大していきたい思います。



また先日、RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)の案内を頂き、「これは基礎から学べる」と、初めて参加させて頂きました。

この研究会は、名称にリーダーシップ研究会と有りますが、言わば、もっとロータリーの事を知って活動をすれば、もっと有意義な時間を共有できる。が目的かなと感じます。

2730地区内のメンバー内で意見を交換する際に、あまりにも自分がロータリーの事、しかも宮崎ロータリークラブの事を知らなさ過ぎ、ただ何となく活動してる状況を鑑み、もう一度基本から学び直す必要があると改めて感じました。

ただ、意見交換する中で、私は大変恵まれているクラブに所属していると、認識する事もできました。

会員数が多いが故、過去の私のように1人動かなくても、事業は動きます。会員数の少ないクラブはそうはいきません。会長が何回目、幹事が何回目と耳にします。

各種親睦会の多さ、OB会など、会員が楽しめる交流できるイベントが多数。転勤で退会した後もロータリーに関われる事など、他のクラブからすると羨ましい限りである事を知ります。

宮崎クラブの先輩が培ってきたこのクラブ奉仕の精神は、大切に引き継いで行かなければならないし、更に充実、発展させる事が、ロータリーライフを有意義な活動にする事ができると感じました。

RLI参加は後2回です。参加する事で、何かをクラブに持ち帰り、伝える内容がまだまだ有りそうです。

様々な意見を参考にし、良い物はクラブに落とし込んで行く。これはクラブ奉仕と言えるのではないかと思います。何かを掴んで帰りたいものです。

先日開催されましたクラブ協議会においても、各委員長からの報告を真摯に受け止め、今後のクラブの方向性を、自らの事に考える様にしました。クラブの将来ビジョンはこのクラブ協議会が基本になると思っても良いのではないのでしょうか。

このクラブ協議会には新入会員の同席が認められてます。ここで得られる情報は、例会だけでは得られない情報も多いと思いますので、積極的に参加される事で、更にロータリーライフ充実にお役に立つと思います。是非、機会があれば新会員に方には出席お勧めします。

また、各委員会を開催する際においても、ただ、飲食をし交流を深めるだけでなく、テーマを決め、何をディスカッションするのかを考える必要が有る。と、私個人的には思っております。メンバーの大切な時間を、優位意義な時間として、活用して頂く為には大切な事だと思っております。委員会メンバーの意見を聞き、取りまとめ報告し、活動をする事で、事業に参加出来なくても、皆さんで動いている共同体は出来るのではないのでしょうか。

先日、地区国際奉仕委員会委員長の中村 聡様が、例会ビジター挨拶で「韓国、台湾のメンバーが、若者を中心とした地区大会プログラムの充実に、感銘を受けておられた」とお話になりました。また、ロータリー奉仕デー「海岸美化プロジェクト」コロキウムでは、高校生の将来を見据えた考え方を学び、ロータリー活動における若者への取り組み方は、今後も更に拡充していかなければならない事を知りました。ロータクト委員会、インターアクト委員会、米山奨学委員会など、若者を引っ張っていく事業が、今後のロータリー活動の一つの柱になって行くのではないかと思います。

私自身、インターアクト委員長を2回させて頂いております。宮崎学園の生徒さんの、真剣な思い、考えに感銘を覚えた事を思い出します。

今後の私のクラブ奉仕への取り組み方としては、積極的に参加し、そこで感じ、学んだ事を他のメンバーに伝える事。楽しく、有意義なクラブ運営の一助となる様頑張りたいと思っております。

共に考え、共に行動し、共に経験し感動を分かちあう。これが今後の私のテーマです。ご清聴ありがとうございました。



●クラブフォーラム

「クラブの強みと弱み」

持ち味を知る学ぶ委員長

大園 匡 会員

「持ち味」を知る・学ぶ委員会、委員長の大園です。副委員長に松本会員、委員に加賀城会員、細川会員、坂下会員と、強力布陣となっております。

本日はガバナー公式訪問の良き日にお時間頂き、ありがとうございます。

つい先日、今日、この委員会の話を15分ほど話しなさいと会長に言われ、連休中はほぼこの書類作成に没頭しておりました。連休中の貴重な体験、岡本会長、ありがとうございます。

さて、具体的に何をやる委員会なのかを説明したいと思えます。

まず、皆さん持ち味という言葉聞いて、どういうイメージや考えをされますか？

「持ち味」とは、個人や団体、物事が持っている独自の特長や特性を指します。個人の場合、持ち味はその人の独自の強みや特長であり、他人との交流や仕事、趣味などの活動において活かされる要素となります。

難しい言い回しをしましたが、これは私の考えたことではありません。じつはこの説明はCHATGPTに考えてもらいました。

この短期間、短時間に何とか、皆さんに分かりやすく話したいと思い、ネットで盛んにCHATGPTというワードがあるので、CHATGPTを利用して、資料を作ろうとして、ダウンロードしました。

CHATGPTはキーワードを複数入れて、文章を作成してもらうのですが、今回キーワードとして、「持ち味」、知る・学ぶ、委員会とキーワードを入れて、検索しても、意味をなさない文章しか出てこないのです。そもそも過去にこの委員会がなかったものですから、理解できない文章ばかり作成されて、なんとか文章を繋げようと努力しましたが、まったく時間の無駄になりました。

ということで、ここからは、自分のつたない説明でやっていきたいと思えます。

伝統と格式のある、この宮崎ロータリークラブの持ち味を知る・学ぶには、先輩方に聞いて、知って、学ぶのが一番です。それでは、個々の会員の持ち味を知るには、どうしたらよいのでしょうか？

やはり相手の顔を見て、話す、聞いてもらうのが相互理解になります。

しかし、この3年ほどは、コロナ禍で例会の休会が重なり、たまに例会が開催されても、マスクして、皆さん同じ方向を向いて黙食、あるいは、弁当を持って帰ることまでありました。話すこと自体が、タブーというか、はばかれる状況になりました。

そういう状況が続くと、会員相互の圧倒的な、コミュニケーション不足により、宮崎ロータリークラブの大切なものが、失われつつあると危惧をするようになりました。

宮崎ロータリークラブの歴史と伝統を未来に繋げるために、我々の大切なものを会員みんなで再度確認し、受け継いでいける仕組みづくりに注力していきたいという事がこの委員会の趣旨となります。

そういうことも踏まえて、初の試みとして12月12日火曜日に卓話の時間を利用して会員の皆さん全員で、持ち味を知り、学ぶ会を開催したいと思います。

実際の内容について説明したいと思います。多分皆さんが具体的に「持ち味」を知る・学ぶ会って何をやるのって思っていると思います。

まず皆さんに質問です。宮崎ロータリークラブの全員の名前と顔は一致しますか？特に入会3年未満の皆さんは分かりますか？

全員の方と話したことがある方は何人いらっしゃるのでしょうか？

私よりはるか10年前、伝統と格式ある宮崎ロータリークラブに



入会させて頂いたときには、時がたっても、なかなか先輩方の名前と顔が一致せず、どうしたらいいのか？悩みました。そこで考えたのが、最初に配属された親睦委員会で皆さんをお出迎えする時に、名札を取られるときに顔を確認するという方法を取りました。毎回出席される方は次第と覚えていきましたが、全員となるとなかなか覚えられません。。。

定例夜間親睦会に出席しても、こう見えて、気の小さい私は話したことがある方の隣をあえて選んで、座ることが常でした。そんなことやっけては知り合いも増えません。そうこうしているうちに気がついたら10年の月日が経過していました。

そもそのロータリーの目的は会員同士の親睦と奉仕です。

そこで、今回企画するのが、卓話の時間を利用して、決められた「お題」について、自由に意見を言い合える場を設けて、皆さんに活発におしゃべりしてもらおうというものが企画です。具体的には、いつもの座席配置は6人～7人座れる円卓ですが、当日は12人座れるテーブルを6卓作ります。例会に来られた人から自由に座ってもらい、各テーブルごとにDL ディスカッションリーダーを決めて、そのリーダーに司会を務めて頂き、決められた「お題」について同席したすべての会員に一人ずつ思った事、感じたこと、なんでもいいので話して頂きます。

「お題」については、開催日までに決定いたしますが、具体的には、例えば、ロータリーの楽しさとは何なのか？とか、会員は何のためにこの場にいるのか？とか、例会になかなか出席しない会員にはどうやったら出席してもらえるか？とか、そんな感じで、誰でもが意見を言いやすい内容のお題となります。

ここで一番大事な事は、皆さん全員に意見を言ってもらうことと、述べた内容について、一切「答えを出さない」ということです。全ての意見が正しいし、皆さんが話した内容が、個々の会員の「持ち味」であるからです。

グループで一つの答えをだすのではなく、皆さんが、それぞれの意見を聞き、思い、感じるにより、その会員の持ち味を知る・学ぶということになります。

このディスカッションを20分ほどして頂きまして、そのあと席替えて、今度は違う「お題」を違う会員同士でディスカッションして頂きます。

話し合った内容については、最初に記録係の人を決めていただき、どういう意見が出たかを委員会に提供していただき終了ということになります。

机上の計画では、時間的にも何とか全員の人に話して頂けるとおもうのですが、一人1分話したとして、ディスカッションリーダーを除いて、11人で11分、その出された意見についての意見交換がまた1分かかったとして、22分・・・おおよそ考えただけでもタイトな感じがします。。が、おもしろいと思うている、ディスカッションリーダーの手腕にゆだねたいと思います。

計画では、このディスカッション形式の会を期末までに3回開催したいと思っております。3回開催することにより、おおよそ、全ての会員の方とディスカッションを経験することになります。そして、この会の開催が宮崎ロータリークラブの持ち味になり、今後も継続して開催されるようになることが当委員会の目標です。

この3年間で、世の中が目まぐるしく変化し、感染を防ぐため、会議はZOOMになり、社員とのやり取りもZOOMやメッセージになり、本社自体が縮小され、職種によっては、日本全国どこにいても、仕事ができるようになりました。

人間関係は益々希薄になり、飲みにケーションなどという言葉は若い世代には通用しなくなってしまいました。

ロータリーにおいても、新入会の入会式が大幅に遅れたり、入会された会員の方も皆さんと話し合う機会も少なくなっていました。

コロナがようやく下火になり、社会生活が以前のように戻るかと思いきや、以前と同じようにはもう戻らないだろうと思います。しかし、ロータリーは継続し、変化していかなければなりません。

RI第2730地区では、池ノ上ガバナーがゴードン・マッキナリー会長のテーマを受けて、「平和を求め、希望あふれる、ロータリーライフを進めよう」をテーマにしました。

ロータリーの一人一人が工夫を凝らして、明るく楽しいロータリーライフを進めていただきたいと思います。

ロータリークラブは楽しくあってこそそのクラブです。持ち味を分かち合うメンバーこそ、真のロータリアンではないでしょうか？

長々と話してしまいましたが、皆様、12月12日火曜日、笑顔で、周りのクラブからも羨ましがられる、宮崎ロータリークラブの持ち味、会員の持ち味を知り、学びましょう。

12月12日火曜日皆さん100%出席を宜しくお願いします。以上で委員会の説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。

最後の公式訪問です！



池ノ上ガバナー 公式訪問

(今週の予定)

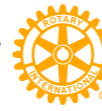
11/14 (火) 奄美中央 ●随行者／ 廣川拓也、金丸宜裕

11/15 (水) 奄美瀬戸内 ●随行者／ 廣川拓也、金丸宜裕

11/16 (木) 奄美 ●随行者／ 廣川拓也、金丸宜裕



100万ドルハンバーグ5ペイピース旗付

Rotary
第2730地区

宮崎ロータリークラブ

本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標

- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
- ②池ノ上克ガバナーの活動支援
- ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
- ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
- ⑤例会出席率90%以上の確保
- ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
- ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会 長> 岡本 俊則
<副 会 長> 藺田 潤子
<幹 事> 藺田 有美
<会報委員会> 福松修一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)

日本の
ひなた
宮崎県

■事務局 宮崎市宮田町13番8号(田崎ビル) TEL:24-4872 FAX:22-0288
URL:https://miyazaki-rc2730.jp E-mail:m-rotary@miyazaki-rc2730.jp